



よむぞう通信

No. 52

戦後70年 戦争とは…

今年は第2次世界大戦終戦後70年となり、戦争を風化させないための記念行事が各地で行われています。日本はこの70年間、戦争を体験していませんが、世界では局地的な戦争がたくさん起きていますし、イラクやシリア、アフリカ諸国では、今も戦争状態が続いています。戦争に善、悪はあるのか。どんな理由でおき、どのような悲劇を生むのか。私たちは戦争を起こさないためには、どうしたらよいのかを考え、実行していかなければならないでしょう。戦争を伝える本や資料を紹介しておきます。

私たちと未来に続く子どもたちのために、今、読んで考えてほしいと願います。



【児童向け】

- ・『わたしたちのアジア・太平洋戦争』吉田足日
- ・『ダイヤモンドより平和がほしい』後藤健二
- ・『ひろしまのピカ』丸木俊

【一般向け】

- ・『昭和天皇実録』
- ・『子供たちに残す戦争体験』新潮 45+編集部編
- ・『ナガサキ昭和20年夏』ジョージ・ウェラー

湖西の名所を 巡ろう！⑩

戦争の記憶

昭和20年(1945)8月15日、日本は多大な被害と犠牲の末に敗戦を迎えました。

新居の住吉地区、畑の中に建つ異様なかまぼこ型の倉庫。海軍が戦争中開設した「浜名海兵団」(水兵の教育訓練機関)の通信棟跡です。本州の中央に位置する遠州灘を、日本は敵軍上陸の想定地と考え、敵(米軍)にとっては、京浜・中部関西方面を叩く爆撃ルート上の目印のひとつが浜名湖でした。戦争末期、新居や白須賀の山上に建てられた防空監視哨(敵機の監視台)で任務に当たった若い哨員たちが、米軍の大空襲を受けて炎上する浜松や豊橋、名古屋を遥かに眺めたときの衝撃は如何ばかりだったでしょうか。乗客に多くの死者を出した度重なる東海道線への機銃掃射、敗戦わずか半月前の米英艦隊による艦砲射撃で2160発もの砲弾が打ち込まれた浜松と新居、町内や学校での防空訓練、学徒動員そして集団疎開、駐留軍の失火で焼失した妙立寺鐘楼と祖師堂……

今年は「戦後70年」の声で騒がしいですが、戦争の悲劇は、世の中が変わっても決して昔話にははいけません。

夏休みイベント開催中♪

中央図書館

図書館わくわくビンゴ(～8/30まで)

本を借りてビンゴになったら
プレゼントがもらえるよ!



新居図書館

図書館まるごとスタンプラリー(～8/31まで)

本を借りたり、おはなし会に参加してスタンプを集めよう。12個集めたらプレゼント!

中央図書館 今月の特集

今年で100年! 高校野球

- ・『高校野球を200%楽しむ観戦読本』
- ・『甲子園の詩』
- ・『弱くても勝てます』
- ・『野球小僧』ほか



新居図書館 今月の特集

おいしい料理で、夏をのりきろう!

- ・『海上自衛隊の極旨カレー・レシピのひみつ』
- ・『いちばんやさしい基本のエスニックレシピ』
- ・『本当に食べたい! ガッツリ男子ごはん』
- ・『ミツカン社員のお酢のレシピ』ほか





芥川賞・直木賞ってなに？

今年7月に発表された第153回芥川賞は、羽田圭介著の「スクラップ・アンド・ビルド」、又吉直樹著の「火花」、直木賞は東山彰良著の「流（りゅう）」に決まりました。

そこで、今回は、芥川賞と直木賞について取り上げます。この2つの賞は、出版社文藝春秋の社長でもある作家、菊池寛によって1934年に創設されました。芥川賞は、「純文学・新人作家・読書通向け」のものであり、直木賞は、「大衆文学・中堅作家・一般向け」といった特徴があります。つまり、芥川賞作品は作家自身の世界観が表現された芸術性の高い作品となっており、直木賞作品はエンターテインメント性が高く、気軽に楽しめる作品といえます。図書館には、今回選ばれた作品だけでなく、過去の受賞作品もありますので、この機会に芥川賞・直木賞作品を楽しんでみてはいかがでしょうか。

過去の受賞作品 ※すべて図書館にあります

芥川賞
村上龍『限りなく透明に近いブルー』
柳美里『家族シネマ』
石原慎太郎『太陽の季節』
松本清張『或る「小倉日記」伝』

など

直木賞
東野圭吾『容疑者Xの献身』
高村薫『マークスの山』
宮部みゆき『理由』
中島京子『小さいうち』

など

＝ 大人のための朗読会 ＝

- ◆日時 8月28日（金）14:00～15:00
- ◆場所 中央図書館2階 お話し室
- ◆内容



- ・【小説】「冷凍みかん」 恩田 陸／著
- ・【小説】「ロシアパン」 高橋正亮／著
- ・【小説】「赤い蠟燭と人魚」 小川未明／著

※事前申し込みは不要です。当日会場へお越しください

おすすめ本



『ラッコのひみつ』

写真：松橋利光、文：池田菜津美、イラスト：神田めぐみ、協力：鳥羽水族館 出版社：新日本出版社

いつ行っても楽しい水族館ですが、特に暑い夏には、水の中で泳ぐ魚や動物たちを見てとても癒されますね。

今回おすすめする本は、「ラッコのひみつ」です。なぜ、毛づくろいをする

のか、なぜトレーニングするのかなど、人気者のラッコのひみつを飼育員さんが教えてくれる写真絵本です。かわいいラッコを見るだけでも癒されますが、読んでおくとより詳しく観察ができますよ。図書館にはこの他にも、水族館にいる生きものの本がたくさんあります。出かける前にぜひ図書館にお立ち寄りくださいね。

8月のカレンダー

■ = 休館日

中央図書館						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☎ 053-576-4351
開館時間 9:30～18:30

新居図書館						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☎ 053-594-3155
開館時間 9:30～18:30

公民館図書室						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

西部公民館 : ☎ 053-577-2867
北部多目的センター : ☎ 053-578-0760
開館時間 9:00～17:00